



## 何を隠したいのか！ 「秘密保護法」急ぐ政府

安倍内閣は秘密保護法案を閣議決定し、国会に上程しました。民主政治の根本は国民主権であり、国民が情報を共有することから始まります。事実を知られない中で正しい判断など出来ないからです。この法案は民主主義の根本にかかわります。

### 何が「特定秘密」かは秘密

「特定秘密」を保護するためといいますが、なにが「国の安全保障に著しい支障がある」に該当するかを決めるのは政府であり、それをチェックする第三者機関はありません。そうした政府にも中立な組織を作ればそのメンバーを通じて「秘密」が漏れることになるのを恐れるからでしょう。何が「特定秘密」かは秘密？なのです。かつて戦中に軍事機密とされたのは外交や軍事ではありませんでした。基地の地図は空白にされ、海底の地形も秘密にされて遭難の原因となり、気象情報さえも敵に攻撃の機会を与えると秘密にされたため、台風情報なども国民に伝えられず、多数の犠牲者を出したのは忘れてはならない事実です。

### 処罰対象と厳罰

「秘密を漏洩」したり、それを「共謀・教唆・扇動」したのも懲役刑なのです。マスコミはそうした情報に近づくことを避け、国民に報道しなくなります。そればかりか平和運動に取り組む市民団体やNPOも調査研究が処罰されかねないといえます。この九条の会のニュースも政府に都合が悪いと判断され、弾圧の危険性があると考えるのは決して杞憂ではありません。

脱原発運動についても原発がテロの対象としての危険が問題にされています。そうすると原発の報道さえ出来なくなりがねません。

### 背景はアメリカ

なぜたった一ヶ月余りの審議でこんな重大な法案を審議決定しようとしているのか。日米防衛協力を推進するためです。九条を変えて海外派兵でき

るようにし、米軍と一体化し一緒に戦えるようにしようとしています。戦争をしないはずの日本の機密保護の仕方ではアメリカが困る。とすでに2000年にアーミテージ元国防副長官が日本に強く要求しており、アメリカは九条改憲をめざす安倍晋三総理に「改憲はすぐには難しい、解釈改憲で行くべきだ」と主張してきました。そこに踏み込んだ安倍内閣の重要な一つのステップです。つまり「実質的な改憲」が始まっているのです。

### 反対の声広がる

マスコミもさすがにこれには賛成するわけには行かない。弁護士や学者も立ち上がっている。しかし国会議員も口を封じられることになるのに、反応は鈍い。そんな中でタレントの藤原紀香さんも自身のブログで、政府が進める「秘密保全法」への危機感を表明し、話題になっています。

みなさん、「秘密保全法」って知っていましたか？

……秘密保全法案を、各所で読んでみたらその適用範囲が曖昧なので、……国が「この案件は国家機密である」と決めたことに関しては、国民には全く知らされないことになり、……放射能汚染、被爆などのことや、他に、もし国に都合よく隠したい問題があって、それが適用されれば、私たちは知るすべもなく、しかも真実をネットなどに書いた人は罰せられてしまう、なんて恐ろしいことになる可能性も考えられるというので、とても不安です。……こんなに大切な事柄なのに、たった2週間受け付けるパブリックコメントで、この法案を決めてしまうの?! ……あと4日足らずなので、それぞれ、賛成、反対意見は政府へのパブリックコメントに書きましょうここからも書き込めますよ 9月13日



こんな率直な意見に対しても、彼女の背後関係が何かと疑って公安が調査したというから驚きです。外国では俳優や音楽家やタレントも様々な意見を表明しています。日本はなんと不自由な国だろう。

一時法制化に慎重と報道された公明党も結局賛成に廻ってしまいました。暴走を皆で止めましょう。



